



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 日精樹脂工業株式会社  
コード番号 6293 URL <http://www.nisseiushu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻原 英俊

TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	18,750	68.2	534	—	32	—	2	—
22年3月期第3四半期	11,145	△50.5	△1,769	—	△1,757	—	△1,757	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	0.10	—
22年3月期第3四半期	△83.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	36,761	19,671	53.2	932.80
22年3月期	35,058	19,579	55.5	928.63

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 19,542百万円 22年3月期 19,455百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	48.8	500	—	350	—	220	—	10.50

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 22,272,000株 22年3月期 22,272,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,321,534株 22年3月期 1,321,414株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 20,950,512株 22年3月期3Q 20,950,586株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の伸びを下支えとして、企業収益・設備投資ともに改善の動きが見られました。しかし、景気の緩やかな回復基調は維持されているものの、経済政策効果の反動、海外景気の下振れリスクが存在しており、引き続き予断を許さない状況が続いております。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、円高および政策効果の剥落等の影響から国内設備投資は伸び悩んでおります。また、海外市場においても特に東アジアを中心に激しい価格競争が展開されるなど、依然として厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、景気の回復に伴い売上高が187億5千万円（前年同期比68.2%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が133億6千7百万円（前年同期比89.3%増）、周辺機器売上高が13億5千5百万円（同60.6%増）、部品売上高が31億2千6百万円（同29.7%増）、金型等の売上高は9億円（同8.8%増）と夫々増加いたしました。

一方、利益面につきましては、国内および米国での売上が増加したこと等から営業利益は5億3千4百万円（前年同期実績は営業損失17億6千9百万円）を計上いたしました。しかしながら、加速する円高の影響から為替差損6億1千万円を計上したことにより経常利益3千2百万円（前年同期実績は経常損失17億5千7百万円）となり、これらの結果、四半期累計純利益は2百万円（前年同期実績は四半期累計純損失17億5千7百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

## (日本)

円高の影響により国内の設備投資需要は減少傾向にありますが、自動車部品関連の一部、容器・医療関連から比較的安定した需要があったこと等から売上高（外部顧客への売上高）は107億4千9百万円、営業利益は5億1千8百万円となりました。

## (アメリカ地域)

自動車関連および医療関連で、需要が持ち直し好調に推移したこと、またコネクタおよび雑貨関連での受注が堅調だったこと等から売上高（外部顧客への売上高）は34億8千7百万円、営業利益は1億8千5百万円となりました。

## (アジア地域)

タイ、インドネシア等を中心とした東南アジアでは電子部品、OA通信関連が堅調に推移したこと等から、売上高（外部顧客への売上高）は45億1千3百万円となりましたが、激しい価格競争の結果、営業損失3千5百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産・負債および純資産等の状況

当第3四半期連結累計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比17億3百万円増加し、367億6千1百万円となりました。主たる増加要因は売上高増加に伴う受取手形及び売掛金の増加16億9千4百万円のほか、商品及び製品の増加8億4千7百万円であり、主たる減少要因は、現金及び預金の減少14億9百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末比16億1千万円増加し、170億9千万円となりました。主たる増加要因は、仕入高増加に伴う支払手形及び買掛金の増加22億5千8百万円であり、主たる減少要因は、短期借入金の減少3億7千9百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末比9千2百万円増加し、196億7千1百万円となりました。主たる増加要因は為替換算調整勘定の増加1億3千万円であります。

## ② 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前第3四半期連結累計期間末比26億6千2百万円減少し47億2千万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△5億8千1百万円（前年同期実績は17億2百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、仕入高増加に伴う仕入債務の増加額28億1千9百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、売上債権の増加額21億8千5百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7千9百万円（前年同期実績は△4億円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、定期預金の払戻による収入1億円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出4千3百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△6億5千5百万円（前年同期実績は7億2千3百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は短期借入金の減少額3億3千4百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年11月5日公表の「平成23年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の各予想値を変更しておりません。

当社グループといたしましては、今後とも、海外部材調達拡大をはじめとするコストダウン施策の実施、国内外の販売・サービス体制の整備、市場ニーズを的確に捉えた新機種の開発、中国生産の拡大等を進めてまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 四半期連結損益計算書の表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間においては、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,024	6,433
受取手形及び売掛金	9,600	7,905
商品及び製品	4,293	3,445
仕掛品	1,344	722
原材料及び貯蔵品	3,040	2,799
その他	3,171	2,816
貸倒引当金	△153	△188
流動資産合計	26,320	23,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,941	3,128
機械装置及び運搬具(純額)	466	548
土地	4,339	4,355
その他	960	1,079
有形固定資産合計	8,707	9,111
無形固定資産	898	1,103
投資その他の資産		
投資有価証券	628	707
その他	246	264
貸倒引当金	△40	△62
投資その他の資産合計	834	909
固定資産合計	10,441	11,123
資産合計	36,761	35,058
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,530	6,272
短期借入金	2,129	2,509
未払法人税等	63	54
引当金	204	171
その他	1,424	1,445
流動負債合計	12,353	10,453
固定負債		
長期借入金	540	675
退職給付引当金	2,505	2,368
引当金	171	221
その他	1,519	1,761
固定負債合計	4,736	5,026
負債合計	17,090	15,479

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	9,828	9,825
自己株式	△824	△824
株主資本合計	19,855	19,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93	139
為替換算調整勘定	△406	△536
評価・換算差額等合計	△312	△397
少数株主持分	129	123
純資産合計	19,671	19,579
負債純資産合計	36,761	35,058



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	11,145	18,750
売上原価	9,346	14,050
売上総利益	1,798	4,699
販売費及び一般管理費	3,568	4,165
営業利益又は営業損失(△)	△1,769	534
営業外収益		
受取利息	27	23
受取配当金	9	10
助成金収入	190	—
その他	96	164
営業外収益合計	323	198
営業外費用		
支払利息	84	83
為替差損	221	610
その他	5	5
営業外費用合計	311	699
経常利益又は経常損失(△)	△1,757	32
特別利益		
固定資産売却益	2	38
貸倒引当金戻入額	—	18
役員退職慰労引当金戻入額	—	25
特別利益合計	2	82
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産廃棄損	1	0
投資有価証券評価損	2	—
関係会社株式評価損	5	—
特別損失合計	13	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,768	114
法人税等	△18	99
少数株主損益調整前四半期純利益	—	15
少数株主利益	7	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,757	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,768	114
減価償却費	689	635
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	△47
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	158	137
受取利息及び受取配当金	△37	△33
支払利息	84	83
助成金収入	△190	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,044	△2,185
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,076	△1,975
未収消費税等の増減額(△は増加)	172	△134
仕入債務の増減額(△は減少)	△623	2,819
その他	△8	132
小計	1,614	△496
利息及び配当金の受取額	37	34
利息の支払額	△87	△83
助成金の受取額	190	—
法人税等の支払額	△51	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,702	△581
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△104	—
定期預金の払戻による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△82	△43
無形固定資産の取得による支出	△167	△34
その他	△46	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△400	79
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△877	△334
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	—	△134
配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	—	△0
セール・アンド・リースバックによる収入	908	21
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△206	△206
財務活動によるキャッシュ・フロー	723	△655
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,037	△1,309
現金及び現金同等物の期首残高	5,344	6,029
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,382	4,720

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、射出成形機及びその関連機器の製造販売の単一事業であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アメリカ地域 (百万円)	アジア地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,892	1,879	2,373	11,145	—	11,145
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,243	0	—	3,244	(3,244)	—
計	10,135	1,880	2,373	14,389	(3,244)	11,145
営業費用	11,705	2,014	2,531	16,252	(3,337)	12,914
営業利益又は営業損失(△)	△1,570	△134	△157	△1,862	92	△1,769

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1 国又は地域の区分の方法・・・・地理的近接度による。

2 各区分に属する主な国又は地域・・アメリカ地域 アメリカ、メキシコ、カナダ

アジア地域 シンガポール、マレーシア、タイ、中国、台湾、香港

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アメリカ地域	アジア地域	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,078	3,635	151	5,865
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	11,145
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.6	32.6	1.4	52.6

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法・・・・地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国又は地域・・アメリカ地域 アメリカ、メキシコ、カナダ

アジア地域 シンガポール、マレーシア、タイ、中国、台湾、香港

その他の地域 南アフリカ、スウェーデン

## 【セグメント情報】

## ① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を判断するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に射出成形機及びその関連機器の製造販売をしており、各地域において当社および現地法人が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

なお、当社グループでは、「日本」、「アメリカ地域」および「アジア地域」の3つを報告セグメントとして区分しております。

## ② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	10,749	3,487	4,513	18,750
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,171	5	535	7,713
計	17,920	3,493	5,049	26,464
セグメント利益又は損失(△)	518	185	△35	668

## ③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	668
セグメント間取引消去	△134
四半期連結損益計算書の営業利益	534

## ④ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。